

漱石俳句活動に全国表彰

芳野小学校の「漱石俳句活動」は、開始して四半世紀を超える伝統的な文化芸術活動です。その漱石俳句活動が、博報堂教育財団主催の第55回「博報賞」において「功労賞」を受賞することになりました。これは、漱石俳句活動

- ・日本や地域の文化・伝統の学習を通し、国やふるさとへの愛着と誇りをもち、日本文化の継承・発展を担うと共に、それを表現し、伝えることのできる子どもを育てる活動
- ・地域の文化や地域について学ぶ中でそのよさを見出し、発展させようとする人材の育成につながる活動

【「博報賞」の日本文化・ふるさと共創教育の定義】

が「日本文化・ふるさと共創教育」として、左記の価値があると認められたことによる表彰です。

この「博報賞」とは、児童教育現場の活性化と支援を目的としており、日々教育現場で尽力している学校・団体・教育実践者の「波及効果が期待できる草の根的な活動と貢献」を顕彰しているものです。熊本市立の小学校としては、2005年に特別支援教育の実践で選ばれた慶徳小学校以来、19年ぶり2校目の表彰となります。

博報堂教育財団が認めた漱石俳句活動 その概要

今回の「博報賞」では、主題を「ふるさと芳野を誇る心情を育む夏目漱石を由来とした俳句活動」としています。そして、審査会では、漱石俳句活動の概要について次のようにまとめています。



熊本市立芳野中学校との小中一貫校である芳野小学校は、地域について学ぶ「芳野学」を9年間の教育の柱として教育課程に位置付けています。その一環として郷土にゆかりのある夏目漱石を学び、俳句づくりを活性化させています。また、漱石の小説『草枕』の舞台となった郷土をウォークラリーで巡り、環境学習にもつなげる活動を続けています。

漱石俳句活動は、「芳野学」の小学校全学年で取り組む学習活動の一つで、一貫校の開校前から小学校で取り組んでいたものです。年7回、漱石俳句週間を設け、特に10月には俳句に造詣の深い文化人を招聘し、児童の発達段階に応じた専門的な指導や助言を行い、上記の「漱石俳句ウォークラリー」を開催して学びのニーズに応えています。単純に俳句活動が目的でなく、「芳野学」でふるさと芳野を誇り愛情を育むことを目的とするために、校内の校務分掌には「『ことば』の心」部（德育部）を位置づけています。また、職員会議では漱石俳句活動全体計画を共有し、共通理解のもと、新任教職員も協働できるよう継続を図っています。

こうした児童を支える職員の持続可能な組織的な動きが、6年間を通して地域を誇りに思う心情を育てる教育につながっています。また隣接する玉名市立小天小学校にも、本校の取組を参考にした「草枕の道・俳句ウォークラリー」が開催され、その波及効果も確認されています。



このように本校の漱石俳句活動は、大学教授等で構成された審査委員会で高評価を受けています。

漱石俳句活動は、いわば無形文化財です。これからも未来へ向けて漱石俳句活動を発展及び継承を図り、子どもたちに俳句—日本文化—を楽しむ心と芳野愛—芳野を誇りに思う心情—を育てていきたいと思えます。

〔漱石俳句ウォークラリー〕本年度は十月二十六日（土）に開催します。子どもたちが珠玉の一句をしたためます。保護者の皆様のご参加をお待ちしております！